

2020年3月、阪急阪神グループ4施設(オフィスビル・商業施設)の共用部に 個室型スマートワークブース「テレキューブ」を関西で初導入

～ 阪急・阪神沿線エリアのビジネスパーソンの「働き方改革」を後押しします ～

阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：若林常夫）とテレキューブサービス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小山田佳裕）では、2020年3月9日（月）から、テレキューブサービスが展開する個室型のスマートワークブース「テレキューブ」を阪急阪神不動産が管理する「阪急ターミナルビル」、「新大阪阪急ビル」、「阪急西宮ガーデンズ」、「エビスタ西宮」の共用部に順次導入します。なお、施設の共用部への「テレキューブ」導入は、関西で初めてとなります。

阪急阪神不動産では、梅田や阪急・阪神沿線を中心に数多くの良好なオフィス空間をテナント企業に賃貸してきました。しかし、昨今の働き方改革の流れを受け、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が注目を集めています。そこで、外出時のすき間時間などに、安心して気軽に働くことができる環境を提供し、働き方改革の流れを後押しすることで、沿線の魅力をより高めようと、首都圏で実績のある個室型スマートワークブース「テレキューブ」を導入することとしたものです。

「テレキューブ」は、幅・奥行き共に1.2m、高さ約2.3mで電話ボックス型の施設です。施設内には、電源コンセントやUSBコネクタが敷設されているほか、遮音性能も備わっていることから、プライバシーが確保され、情報の漏えいリスクも少ない空間となっています。

利用方法は、事前に会員登録を行ったうえで、スマートフォンから空き時間を検索して予約し、利用時はQRコードを読み取って利用するというものです（予約がない場合は即利用可能）。



今後は、利用状況を勘案しながら、沿線を中心に設置エリアを拡大することで、より働きやすい環境づくりに取り組み、沿線の魅力の向上につなげてまいります。

今回導入するテレキューブの概要等は、別紙のとおりです。

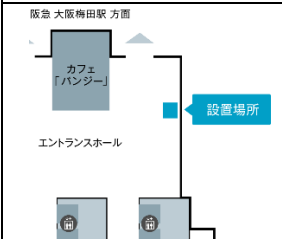
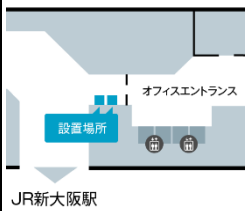


以上

個室型スマートワークブース「テレキューブ」設置の概要

「テレキューブ」は、テレキューブサービス(株)が提供する遮音性の高い個室型のワークブースサービスです。内部には机、椅子、電源コンセントなどを備え、プライバシーが保たれた空間で、資料作成やメール送受信をはじめとした各種の業務や、電話、Web 会議などのコミュニケーションが可能です。

公式ホームページ <https://telecube.jp/>

1 設置場所等

設置場所	阪急ターミナルビル (1階エントランス)	新大阪阪急ビル(3階エントランス前通路)	阪急西宮ガーデンズ (本館1階エントランス付近コインロッカー横)	エビスタ西宮 (3階東側スペース)
				
住所	大阪市北区芝田1丁目1番4号	大阪市淀川区宮原1丁目1番1号	西宮市高松町14番2号	西宮市田中町2番2
主要用途	オフィスビル	オフィスビル	商業施設	商業施設
利用開始日	3月9日(月)	3月中予定	3月中予定	3月中予定
設置台数	1台	2台	1台	1台
利用時間	8時～21時	8時～21時	10時～21時	10時～21時

2 今回導入する「テレキューブ」の仕様

外寸	幅 1,200mm×奥行 1,200mm×高さ 2,315mm
設備	机、椅子、ダウンライト、電源コンセント×1、USBコネクタ×1、換気ファン
防音性能	完全密閉型
入退室	入口に表示されるQRコードを、利用者が所持するスマートフォンで読み取り開錠。退室の際は、そのまま退室します。
利用料金	250円/15分(税別) ※15分ごとの従量課金制

(注1) テレキューブには、1人用、複数人用の仕様があるが、今回導入するテレキューブは1人用ブースである。

(注2) 今回導入するテレキューブには、抗菌・防臭・抗ウイルスコーティングが施工されている。

(参考) テレキューブサービス株式会社の概要

- 会社名 テレキューブサービス株式会社
- 所在地 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル9階 EGG JAPAN
- 代表者 小山田 佳裕
- 株主 テレキューブ(株)、(株)ブイキューブ、(株)オカムラ、三菱地所(株)
- 事業内容 個室型スマートワークブース「テレキューブ」の普及に向けたサービスの提供

以上